

令和5年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
高知県	①学校運営上の課題	教職員の時間外勤務の是正	総合的な探究の時間や地域との連携に関わる準備・調整、また、放課後学習や部活動指導等により教職員の時間外勤務が常態化している。	・地域学校協働活動推進員等を各校2名以上配置し、総合的な探究的時間を中心に地域との連絡調整を行うことで、教職員の業務負担を軽減する。 ・放課後学習支援員及び部活動支援員の活用により、教職員の業務負担を軽減する。	教職員の業務負担が軽減され、時間外勤務を行う教職員数が減少する。	時間外在校等時間が月45時間以内の教員の割合（R4.4～R5.1月）	64	%	70	64	2 ・協働活動推進員を2名以上配置した4校については、教員が地域との連絡に係る時間や教員の負担が減り、時間外勤務の削減に効果が見られた。一方、大学生を推進員として複数名配置している学校においては、日中の活動が制限され、指標の達成に至らなかった。次年度は推進員の委嘱について検討をしていく。 ・放課後の遠隔補習を学習支援員が担い、教員の負担軽減に取り組んだが、地域人材では賄えない業務もあり目標値を大きく下回った学校も見られた。時間外勤務時間は、様々な要因により変動するため、地域学校協働活動推進員や放課後学習支援員等の活用状況等を把握することで、目標の達成につなげていく。
高知県	②学校と地域の課題	高校・特別支援学校における地域連携の強化	少子化により、中山間地域の学校の存続が課題となっており、地域との連携を強化していくことが必要である。	・地域学校協働活動推進員を各校2名以上配置し、地域との連携協働体制の強化を図る。 ・地域学校協働活動に係る研修会を実施し、学校間での情報共有等を通じて横のつながりを構築する。	地域の課題や実情を踏まえた地域協働活動を活性化するための体制が強化される。	地域学校協働活動に関わる研修会への参加校数	6	校	9	5	2 ・地域学校協働活動に関わる研修会を年に4回実施（全体研修会1回、地域コーディネーター研修会ブロック別3回）しているが、参加校が5校と約半数であった。要因としては、地域学校協働活動推進員が日中に別の業務があったり、授業と重なったりしたため、参加できなかったことがあげられる。今後は、研修会の時期や開催場所の検討することや、推進員のみでなく、学校関係者の参加についても積極的に呼びかけていくことで、協働活動の活性化につなげていく。

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。